

第1回新幹線まちづくりWS開催！

ワークショップ

『新幹線が現実となり、20年後の倶知安町はどう変わるかを想像しよう』をテーマに、町民・学生など約30人が町の将来像や地域振興策について話し合いました。

まちづくりの専門家である北海道工業大学の濱谷教授から「23年後を見据えた視点」というテーマで、「ワークショップで大事なものは、意識改革。情熱でまちが変わるんだという気持ちになるための第1歩だと位置付けて」とお話ししていただきました。

その後グループに分かれ、新幹線開通後の町の将来像について議論し、「新幹線駅は交通の要衝となり、観光客の増大、中心市街地の活性化にもつながる」「逆に町外に買い物客が流れ、空洞化につながるのではないかなど、新幹線開通によるメリットだけでなく、デメリットも発表されました。研究の一



環で、山ろく出身の北海道工業大学の学生も参加し、町外からの若い視点として活発に意見を出していました。

ワークショップは、本年度は計3回実施し、町民、行政、学識経験者などによる意見交換から、町民が主体となり、地域の将来像、観光・産業など様々な観点から振興策のアイデアを出し合い、その成果を参加者でまとめます。その成果は、今後の新幹線に関連する施策に町民の提言として活用されます。

開館時間は9時～17時（入館は16時半）

●12月の休館日● 4、11、18、25、31日

展覧会のお知らせ

常設展

「小川原脩 自伝風な展覧会—小川原脩*どうぶつランド」

小川原が描く動物たちは、愛らしくて、ユーモアがあって、チョット切ない…

そんな“どうぶつたち”とお話しませんか。2013年3月24日（日）まで、一部の作品を替えながらのロングラン展覧会

企画展

「上田茂展—澄明な風景」

黒松内町在住の水彩画家上田茂さんの作品展示。

春から冬へ、季節の音色が聞こえてくるような透き通った風景。繊細な作家の感情があふれる淡彩の世界。2013年1月14日（月）まで開催。

「白い森」渡辺洋一写真展

会期：12月20日（木）～2013年1月31日（木）

—お知らせ—

12月恒例の「クリスマスキッズコンサート」が開かれます。

美術館開館から共に歩んできた、子どもたちが主役のコンサートです。

12月22日（土）17時30分開演 入場無料

ミュージアム通信

小川原脩記念美術館

☎21-4141 FAX 21-4142

URL www.town.kutchan.hokkaido.jp/town/somoa/index.jsp

倶知安風土館

☎22-6631 FAX 22-6632

URL www.town.kutchan.hokkaido.jp/town/huudokan/huudokan.jsp

木田金次郎美術館 ☎ 0135-63-2221

没後50年「木田金次郎と中谷宇吉郎」開催中
木田金次郎を偲ぶ「どんざ忌」12月15日（土）

17時から

18時から交流会（会費1,500円）

「冬休みワークショップ カレンダーを作ろう」
12月26日（水）

西村計雄記念美術館 ☎ 0135-72-2525

風景との対話—北海道、パリ、沖縄—開催中
K・U・DAY（ケーユーデー）12月4日（火）無料の日
「箱絵づくり」に挑戦！12月15日（土）13時から

荒井記念美術館 ☎ 0135-63-1111

「時代を創る手」開催中。12月中旬から冬期休館に入ります。

海と山と田園と—ミュージアムロード情報—

町長室から

いよいよ今年も残すところあと1カ月となりました。これからの倶知安町は、除雪や排雪等の雪との戦いが春まで続きます。皆さんには、除雪作業に日々苦勞される季節のはじまりでもありますが、一方で本格的なスキーシーズンの幕開けとなります。年末に向けて観光客も増え、町中がにぎわい、雪化粧に染まった町に明るさが増すことでしょう。

11月は町内会連合会と町との意見交換会や、まちづくり懇談会が開かれました。町道改善や防災対策などを中心に、町民の皆さんからは身近な意見が多く出されました。今後のまちづくりに活かしてまいります。

これからは本格的な寒さが訪れます。「インフルエンザ」の流行に備えつつ、風邪などひかれないよう、新しい年を元気で迎えください。

福島世二

絵本館 10～18時 (水曜休館)	公民館3階図書室 10～17時 (月曜休館)
<p>『クジラ・イルカのなぞ99』</p> <p>クジラやイルカが大好きな著者が子供たちが不思議に思うなぞに答えてくれます。さし絵に使われているたくさんの方の写真的美しさが目をひきます。</p> <p>絵本館おはなし会 こびとの森 12月8日(土) 11時～(クリスマス会のため第2土曜日) あなた 谷川 俊太郎 デルフィニア戦記 全18巻 茅田 砂胡</p> <p>ゆいゆいお母さんになる 堀口 貞夫他</p>	<p>図書室体験講座 クリスマスリースを手作りしよう♪</p> <p>日時 / 12月16日(日) 各回定員6名 1回目 10時30分～12時 2回目 14時30分～16時 材料費 600円</p> <p>■申し込み / 12月10日まで 公民館(☎22-4151)へ</p> <p>■日時の変更 / 12月10日まで</p>
<p>『せかい いち おいしいスープ』</p> <p>寒い時期に体を温めるスープは、世界中にあります。ですからスープの絵本もたくさんありますよ。みなさんにとっての「世界一のスープ」を考えてみてはいかがでしょうか？</p> <p>12月25日(火) 図書整理で休館 年末年始のお休み 12月28日(金)～1月5日(土)</p> <p>今月のイチ押し絵本!</p>	<p>今月の新着</p> <p>汚れちまった道 内田 康夫 スリジエセンター1991 海堂 尊 空の拳 角田 光代 無花果とムーン 桜庭 一樹 この君なくば 葉室 麟 本屋さんで待ちあわせ 三浦 しをん 母性 湊 かなえ 自殺の国 柳 美里 64(口クオン) 横山 秀夫 阿川佐和子の世界ー受けたい授業 阿川 佐和子</p> <p>年末年始のお休み 12月28日(金)～1月5日(土)</p>

●おやつはおいしく・楽しく♪大人がコントロールしてくださいね●



色々な形を作るのも楽しいですね! 写真では、さつまいもを土台にしてクッキーを重ねツリーにしました☆

もうすぐ今年も終わりですね。年末年始は久しぶりに家族集合! かわいいお孫さんに見えるのを楽しみにしている方も多いのでは? そこで気をつけてもらいたいのは「おやつ」です。おやつと聞くと、チョコレートやジュースなどの甘い物を想像しますが、子どもにとってのおやつは4回目の食事です。果物や乳製品、おにぎりなど普段の食事で不足しがちなものをあげてほしいです。

孫が喜ぶ顔が見たいから～とついつい甘いものをあげてむし歯になっては、大変です。おやつは大人がコントロールして、おいしく、楽しく、体にあった物を選んでほしいなと思います。

栄養士 小屋畑麻未

◎お野菜クッキー◎ 材料 小さい型 50枚分
・ホットケーキミックス 100g・ほうれん草 50g・油 大さじ 1～2

- ①ほうれん草はやわらかめにゆでて水をしぼり、細かく刻む。
- ②ホットケーキミックスにほうれん草を入れ混ぜ、油を入れ混ぜる。
- ③薄く伸ばして、好きな型で抜く。
- ④170℃のオーブンで12～15分焼く。

にんじん、ごぼうなどは生のまますりおろして、そのまま加えてOK。さつまいも、かぼちゃはゆでて、つぶして混ぜるとよいですね。粉の半分量が目安です。

1枚分 エネルギー 10kcal

感動一点の場

『犬』

年代不詳 小川原 脩画

「自分がここまで描いてきたのだから、あとの人たちはやり易くなっただろう」「だからね、僕はどんなことがあっても描き続けてきたんだよ。僕の絵を買い取っているのは、大正から続いてきたリアリズムなんだ」そのような小川原との会話を思い出しながら、毎回この原稿を書いている。さて、今回の作品は「犬」である。身体をチョッとねじ曲げ、ほんの少し頭を左に傾けた後ろ向きの犬。このままじっとしているわけではない、右に左に少しずつ身体を動かしながら、何となく思考するような仕草の犬。尻尾はその都度右左、何ともユーモラスな動きだ。この際、犬の表情は？何てことは詮索しない方がよい。小川原が描く色紙の絵は実に大らかで、自由な発想だ。太陽と犬だけの単純な組み合わせなのだが安堵感と温かさが伝わってくる。



ふるさと探訪

あの時代 この時代

その41 『スキーの町くっちゃん』

356回



今年はスキー伝来 100周年



明治44年にレルヒが日本に初めてスキー術を伝え、翌45年2月には北海道でスキーの訓練と講習会を開きました。そして明治45年4月17日、レルヒ中佐一行は雪深き、氷の壁で覆われた羊蹄山にスキーを装着して登山を敢行しました。くっちゃんスキー伝来100年の始まりでした。大正5年2月に倶知安はじめてのスキー大会が旭ヶ丘の一角で行われ、昭和3年3月1日付けの小樽新聞に初めて「極東のサンモリッツ」なるニセコを形容す

る文面が掲載されました。それから30数年後、ヒラフスキー場に第1号のリフトが設置され、全日本、冬の国体はもとよりさまざまなスキー大会が倶知安をメイン会場として開催されるようになりました。昭和47年12月20日に倶知安町が全国の自治体でもいち早く「スキーの町」を宣言したのも、このような歴史的背景があったからです。良質の雪と整った施設、設備のニセコエリア、世界に向けて発信中。